

参加無料
&
先着200名

これからの 組織・地域の経営に 必要なこととは？

平成23年12月15日(木)14:30~16:45 横浜情報文化センター 情文ホール

第一部 (14:30~15:30)

基調対談

これからの組織・地域の 経営に必要なこと

～第三次男女共同参画基本計画を受けて～

現在は、まさに大変革の時代です。これまでの経験則が通じない社会がやってきました。そのような時代に求められる企業、組織や地域のリーダーや経営の現場に必要なことはどのような事でしょうか？経営者として経験豊かなお二人から、様々な視座を交えてお話しいただきます。



横浜市長
林 文子

第二部 (15:45~16:45)

パネルディスカッション

ワークライフバランス社会の 実現に向けて

～誰もが仕事でも家庭でも地域でも活躍するために～

男性も女性も、誰もが仕事の間ではもちろんのこと、家庭でも地域社会でも活躍できるワークライフバランス社会は、どうすれば実現できるのでしょうか？各方面で活躍される方々の様々な視点を交え、みなさんと一緒に考えます。



向田 映子
女性・市民コミュニティバンク代表



河口 真理子
大和総研 環境・CSR調査部長



土堤内 昭雄
ニッセイ基礎研究所
主任研究員



土谷 和之
三菱総合研究所
主任研究員



東レ経営研究所特別顧問
佐々木 常夫



PROGRAM

- 14:00～ 開場
- 14:30～15:30 第一部 基調対談
- 15:30～15:45 休憩
- 15:45～16:45 第二部 パネルディスカッション

主催/内閣府男女共同参画局 共催/横浜市

「地域活動」をテーマに福岡(平成24年2月5日(日))で、「男性の子育て」をテーマに滋賀(平成24年2月18日(土))でもシンポジウムを開催予定です。

詳しくは、内閣府男女共同参画局HP <http://www.gender.go.jp/> をご覧ください。

お問い合わせ先:平成23年度 男性にとっての男女共同参画シンポジウム事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町1-5-8-7F NEXA分室内

電話:03-3431-6639(平日10:00~18:00) FAX:03-3431-6638 Eメール:info@gender2011.jp

PROFILE

第一部 (14:30~15:30)

基調対談

これからの組織・地域の経営に必要なこと

林 文子 横浜市長

1946年東京都生まれ。東京都立青山高等学校卒業。東洋レーヨン(株)(現東レ)、松下電器産業(株)(現パナソニック)等勤務の後、1977年ホンダの販売店に入社。1987年BMW(株)東京事業部(現BMW東京)入社。その後ファーレン東京(株)(現フォルクスワーゲン東京)代表取締役社長、BMW東京(株)代表取締役社長、(株)ダイエー 代表取締役会長 兼 CEO、東京日産自動車販売(株) 代表取締役社長等を歴任。2004年ウォールストリートジャーナル紙「注目すべき世界の女性経営者50人」、2005年米フォーブス誌「世界で最も影響力のある女性100人」、2006年日経ウーマン誌「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2006」キャリアアクリエイト部門1位、ハーバードビジネススクール女性経営者賞、2008年米フォーチュン誌「世界ビジネス界で最強の女性50人」等に選出される。2009年8月、横浜市長に就任。また国の男女共同参画会議議員、第30次地方制度調査会臨時委員、東京女学館大学客員教授を務める。著書に「失礼ながらその売り方ではモノは売れません」(巫紀書房)、「一生懸命って素敵なこと」(草思社)、「不思議なほど仕事がうまくいくもう一言の極意」(草思社)など多数。

佐々木 常夫 東レ経営研究所特別顧問

1944年秋田市生まれ。6歳で父を亡くし、4人兄弟の次男として母の手ひとつで育つ。1969年東大経済学部卒、東レ入社。自閉症の長男に続き年子の次男、年子の長女が誕生。しばしば問題を起こす自閉症の長男の世話、加えて肝臓病を患った妻がうつ病にも罹り、20年の間に43回もの入院、3回の自殺未遂を起こす。まだ子供が小さいときは、朝5時半に起き3人の子供の朝食と弁当を作り、夕方は会社を6時に出なくてはならない日々。育児、家事、介護に追いつけられない状況の中でも仕事への情熱を捨てず、大阪、東京と6度の転勤をしながら破綻会社の再建やさまざまな事業改革に全力で取り組む。2001年、同期のトップで取締役就任。2003年東レ経営研究所社長に。数々の企業や事業の再構築を成し遂げ、東レ3代の社長に仕えた経験から独特の経営観を持ち、現在、経営者育成プログラムなどの講師を務める。その半生を包み隠さず綴った著書「ビッグツリー―私は仕事も家族も決してあきらめない」が反響を呼びさまざまなメディアに取り上げられる。その後「部下を定時に帰す仕事術」「そうか君は課長になったのか」などを出版。特に「働く君に贈る25の言葉」は半年で35万部となる。2011年ビジネス書最優秀著者賞を受賞。

第二部 (15:45~16:45)

パネルディスカッション

ワークライフバランス社会の実現に向けて

河口 真理子 大和総研 環境・CSR調査部長

1986年一橋大学大学院修士課程修了(環境経済)、同年大和証券入社。94年より、大和総研企業調査を経て、98年より、環境経営、CSR/SRIの調査研究に従事。2010年4月、大和証券グループ本社 CSR担当部長、2011年7月より大和総研 環境・CSR調査部長。担当分野は環境経営・CSR・社会的責任投資。NPO法人・社会的責任投資フォーラム代表理事・事務局長。サステナビリティ日本フォーラム評議員、環境省・環境ビジネスウィメンの会メンバー、東京都環境審議会委員など。

土谷 和之 三菱総合研究所 主任研究員

1977年生まれ。2001年(株)三菱総合研究所入社。シンクタンクに研究員として勤務する傍ら、環境NGOやまちづくりNPOの理事として、CSRや社会的金融(ソーシャルファイナンス)をテーマとしたイベントやセミナー、キャンペーンの企画運営等に携わる。2009年からは、途上国の社会起業家に投資するファンドを運営する団体にもディレクターとして参画し、主にファンドレイジング等を担当している。

土堤内 昭雄 ニッセイ基礎研究所 主任研究員

京大工学部卒、マサチューセッツ工科大学留学を経て、1988年ニッセイ基礎研究所入社。「少子高齢化・人口減少とまちづくり」「コミュニティ・NPO」等に関する調査研究、および男女共同参画、ライフデザイン等に関する講演・執筆活動を行う。厚生労働省社会保障審議会児童部会委員、東京都千代田区男女平等推進区民会議委員等を務める。著書に「父親が子育てに出会う時」、「人口減少」で読み解く時代」など。

向田 映子 女性・市民コミュニティバンク代表

1946年東京生まれ 東京薬大卒
横浜市に転居後リサイクル運動、石けん運動等に参加、生活クラブ生協(神奈川)理事、横浜市議員(2期)神奈川県議員(1期)、1998年~女性・市民コミュニティバンク(旧:女性・市民信用組合設立準備会)代表

申込方法

Eメール、FAX、電話、往復官製はがきのいずれかにて下記事項を記載の上、お申込み下さい。折り返し参加証をお送りします(お電話申込みの方にはご希望の方法でお送りします)。当日受付にてお渡し下さい。
※往復官製はがきをご利用の方は、返信の宛先にご住所、ご氏名を忘れず記して下さい。

- ① ご氏名(複数名申込みの場合、代表者氏名)
- ② 希望会場名(横浜、福岡、滋賀)
- ③ 申込み人数
- ④ 託児申込みの有無
(有の場合、親御さんの氏名、お子様の氏名、性別、月年齢)
- ⑤ 登壇者への質問(自由記入)
※時間の都合等により、お答えできない場合があります。
- ⑥ ご連絡先
(電話番号もしくはご住所。確認事項が生じた際にご連絡させていただく場合があります。)

申込先

平成23年度 男性にとっての男女共同参画シンポジウム事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町1-5-8-7F NEXA分室内

メールアドレス: info@gender2011.jp

電話: 03-3431-6639 (平日10:00~18:00)

FAX: 03-3431-6638



みなとみらい線「日本大通り駅」…………… 情文センター口 0分
JR・横浜市営地下鉄「関内駅」…………… 徒歩10分

主催/内閣府男女共同参画局 共催/横浜市

「地域活動」をテーマに福岡(平成24年2月5日(日))で、「男性の子育て」をテーマに滋賀(平成24年2月18日(土))でもシンポジウムを開催予定です。
詳しくは、内閣府男女共同参画局HP <http://www.gender.go.jp/> をご覧ください。

お問い合わせ先
平成23年度 男性にとっての男女共同参画シンポジウム事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町1-5-8-7F NEXA分室内
電話:03-3431-6639(平日10:00~18:00) FAX:03-3431-6638
Eメール:info@gender2011.jp